

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	13	学校名	仙台市立南小泉小学校	校長名	菅澤 美香子
------	----	-----	------------	-----	--------

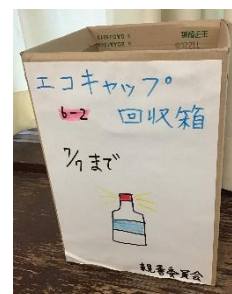
- 1 取組のタイトル、テーマ
自分たちの暮らしとエネルギーや環境のつながり



2 取組の紹介

① エコキャップ回収

親善委員会の児童が中心となって行っている活動です。委員会が回収期間を設け、全校児童から集めました。エコキャップを集めることで、CO2削減に貢献できるだけでなく、ポリオワクチンや障害者支援につながることを含めて、ポスターや動画で全校に呼びかけました。その結果、たくさんのエコキャップを集めることができました。



② チャレンジ!省エネ (5学年 総合的な学習の時間)

5年生では、「チャレンジ!省エネ」をテーマに環境問題について学習しています。4年生までのうちに、様々な発電方法やその活用について学習をしてきました。5年生では、生活と切り離すことのできない電気をいかに効率よく使うかを考えました。省エネ行動を調べ、全体で話し合いながらまとめていきました。現在は、その学習を生かして発電効率の良いLED電球を用いたイルミネーションを作成しています。(写真は過去のものです。)



③ 水はどこから (4学年 社会)

4年生では「水はどこから」の学習で、水が大切な資源であることを学習しました。その学習の中で、「限りある水を使い続けるために自分たちにできること」として、全校に呼びかけポスターを掲示することを考案し、作成した呼びかけポスターを校舎内に掲示しています。



④ リサイクルプランターの活用

4年生では、環境局からいただいたリサイクルプランターを使って、へチマの苗作り等で活用しました。また、社会科のゴミのリサイクルの学習では、ゴミを再生して作られるものの例として、リサイクルプランターを取り上げました。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

エコキャップ回収では、全校からたくさんのエコキャップを回収することができました。子どもたちの会話の中でも「もっと家で探してみる」「これがワクチンになるなんてすごい」「地球のためになるんだな」など、環境や人のために行動しているという意識が感じられました。

5年生の「チャレンジ!省エネ」では、一人一人の省エネ行動が環境のためになっていることに気付き、小さくてもできることをしていこう、という気持ちを持って学習に取り組んでいました。学校以外でも省エネ行動をしている子も見られ、環境への意識が芽生えていました。

4年生の「水はどこから」では、水をきっかけに資源の大切さに気付くことができました。手洗い等の際にも、蛇口をこまめに締めて節水する姿が見られました。

全体を通して、子どもたちの環境意識の高まりが感じられる1年となりました。